

自主点検作業の適切性確保に関する総点検状況について

当社は、「原子力施設にかかる自主点検作業の適切性確保に関する総点検計画書」（平成14年9月20日発表済）を経済産業省原子力安全・保安院に提出し、調査・点検を実施しております。

敦賀発電所1号機では第26回定期検査（平成11～13年）に炉心シュラウドを取替えましたが、これまでの調査で取替前の炉心シュラウドの点検においてインディケーションが認められていたことが判明致しました。

（添付資料1）

このインディケーションについては、第22回定期検査（平成6年）以降、第25回定期検査（平成10年）まで行ったGEII社の炉内点検報告に記載されており、その都度、安全評価を行っており安全上問題ないことを確認しております。その結果、当該インディケーションは報告対象に該当しないと判断し、国等へ報告はしていません。今後は社外第三者評価機関を含めた社内の自主点検調査・対策委員会において、更に調査を進めてまいります。

なお、経済産業省原子力安全・保安院からの「原子力発電所再循環配管に係る点検・検査結果の調査について」（9月20日付）に基づき、東海第二発電所及び敦賀発電所1号機の再循環配管の点検・検査にかかわる調査を実施し、問題のないことを確認しました。

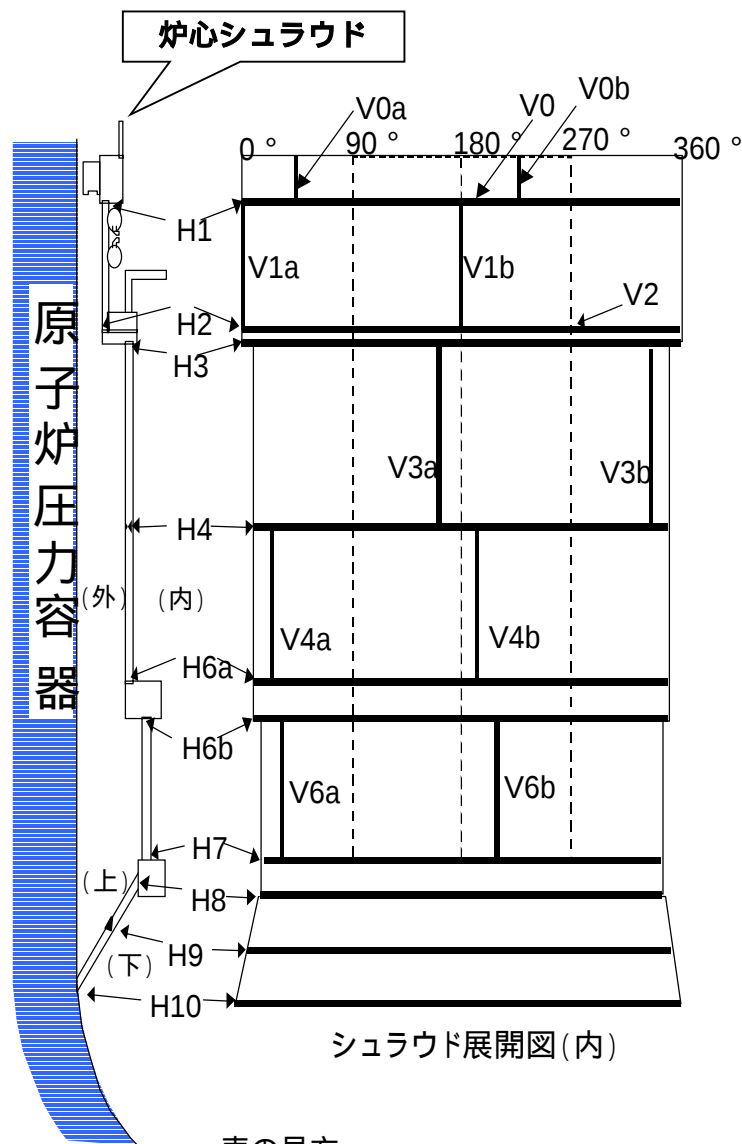
（添付資料2）

以上

-
- 添付資料 1. 敦賀発電所1号機 炉心シュラウド自主点検結果
 2. 原子炉再循環配管自主点検記録の調査概要

敦賀発電所1号機 炉心シュラウド自主点検結果

添付資料1



表の見方

< 溶接線の種類 >

H1～H10: 水平方向溶接線

V0～V6b: 鉛直方向溶接線

< 点検方法 >

VT: 目視点検

UT: 超音波探傷試験

< 結果 >

○: インディケーションなし

△: インディケーションあり

定期検査 溶接線	第20回(平成3年)		第22回(平成6年)			第23回(平成7年)			第24回(平成8年)			第25回(平成10年)		
	点検方法	結果	点検方法	結果	インディケーション	点検方法	結果	インディケーション	点検方法	結果	インディケーション	点検方法	結果	インディケーション
H1	VT(外)	○	VT(内外)	○	-	-	-	-	VT(内外)	○	-	-	-	-
H2	-	-	VT(外)	○	-	-	-	-	VT(内外)	○	-	-	-	-
H3	VT(内外)	○	VT(外)	○	-	UT	○	第22回で確認されたUT指示は、装置の設定ミスによる疑似欠陥であったことが判明	VT(外)	○	-	VT(内外)	○	-
			VT(内)		VT: 7箇所(最大長さ457mm)									
H4	-	-	UT		UT: 18箇所(最大長さ472mm、最大深さ6.3mm)	UT		安全評価実施(問題なし)	VT(外)	○	-	VT(外)	○	-
			VT(内)		VT: 14箇所(最大長さ305mm)									
H6a	-	-	UT		UT: 10箇所(最大長さ153mm、最大深さ12.3mm)	UT		安全評価実施(問題なし)	UT		UT: 28箇所(最大長さ243mm、最大深さ15mm)	VT(外)	○	VT: 5箇所(最大長さ430mm)(第24回UT結果に基づき再度安全評価実施(問題なし))
			VT(内)		安全評価実施(問題なし)						安全評価実施(問題なし)			
H6a	-	-	-	-	-	VT(外)	○	-	UT	○	-	VT(外)	○	-
H6b	-	-	VT(内)	○	-	VT(外)	○	-	UT		UT: 5箇所(最大長さ264mm、最大深さ18mm)	-	-	(第24回UT結果に基づき再度安全評価実施(問題なし))
H7	-	-	-	-	-	VT(外)	○	-	UT		UT: 7箇所(最大長さ255mm、最大深さ19mm)	-	-	(第24回UT結果に基づき再度安全評価実施(問題なし))
H8	-	-	-	-	-	VT(上)	○	-	VT(上)	○	-	VT(上)	○	-
H9	-	-	-	-	-	VT(上)	○	-	VT(上)	○	-	VT(上)	○	-
H10	-	-	-	-	-	VT(上)	○	-	VT(上)	○	-	VT(上)	○	-
V0a・b	-	-	-	-	-	-	-	-	VT(V0a内外)	○	-	-	-	-
V1a・b	-	-	VT(V1a・b内外)	○	-	-	-	-	VT(V1a外)	○	-	-	-	-
V2a・b・c・d	-	-	-	-	-	-	-	-	VT(V2a内上)	○	-	-	-	-
V3a・b	-	-	VT(V3a・b外)	○	-	-	-	-	VT(V3a・b外)	○	-	-	-	-
V4a・b	-	-	VT(V3a・b内)		VT: 4箇所(最大長さ381mm)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
V6a・b	-	-	VT(V4a・b内外)	○	-	VT(V6a・b外)	○	-	VT(V4a・b外)	○	-	-	-	-
			-	-	-									

(注) 点検方法欄の(内)はシュラウドの内側、(外)はシュラウドの外側を示す。

(注) UTによるインディケーションは、内面或いは下面にあり。

*1: 第26回定期検査(平成12年)のシュラウド取替時に液体浸透探傷検査を実施。問題なし

原子炉再循環配管自主点検記録の調査概要

1．調査範囲

現在供用中の原子炉再循環配管について、至近（原子力安全・保安院からの指示文書が出されていることから最大過去 10 年間遡る）の点検・検査に係わる調査を実施した。

＜調査対象期間＞

(1) 敦賀発電所 1 号機

第 21 回定検(H4 年)～第 27 回定検(H14 年)

(2) 東海第二発電所

第 12 回定検(H4 年)～第 18 回定検(H13 年)

第 19 回定検（H14 年は現在定期検査を実施中）

2．調査した記録

- (1) 当社の点検記録（定期検査成績書，定期検査報告書，保修票）
- (2) 当社保有の工事報告書（施工会社から提出される工事報告書）
- (3) 施工会社保有の工事報告書（工事記録を含む）

3．調査内容

- (1) 当社保有の点検記録，工事報告書及び施工会社保有の工事報告書間に矛盾及び必要な技術情報の削除等がないかを調査した。
- (2) 電気事業法に照らして，工事計画の認可又は届出が必要であるにもかかわらず，これを行わずに工事を実施していないか，供用前の機器に技術基準適合維持義務違反がないかを調査した。
- (3) 上記の調査記録により電気事業法，原子炉等規制法及び大臣通達による軽微な故障等の報告基準に基づく国への報告が適切に行われているか否かを調査した。

4．調査結果

報告書間の矛盾や技術基準違反など，問題となる事項はないことを確認した。

以上